鳥羽商船高等専門学校			開講年度 令和04年度 (2022年度)			授	業科目	機械加工	基礎			
科目基礎情報												
科目番号 22204		204			科目区分	科目区分 専門 /						
授業形態		演習	3			単位の種別と単位	単位の種別と単位数 履修単		 Σ: 2			
開設学科	開設学科 情報機械シ			ステム工学科		対象学年	2					
開設期後期			月			週時間数	週時間数 4					
教科書/教材 適宜プリン												
担当教員	担当教員 林 浩一,守山 徹											
到達目標												
1.基礎的な機械加工や組立作業を行うことができる 2.基礎的な電気配線や電子基板の製作を行うことができる 3.CADを用いて比較的複雑な形状の部品を図面化できる												
ルーブリック												
				理想的な到達し	·ベルの目安	標準的な到達レ	標準的な到達レベルの目安 未到道			到達レベルの目安		
評価項目1				指導なしで基礎 立作業ができる	き的な機械加工や組 3	指導下で基礎的が 作業ができる	指導下で基礎的な機械加工や組立 作業ができる			基礎的な機械加工や組立作業ができない		
評価項目2				指導なしで基礎子基板の製作が	楚的な電気配線や電 ができる	指導下で基礎的な電気配線や電子 基板の製作ができる				基礎的な電気配線や電子基板の製 作ができない		
評価項目3				指導無しでCA 面化ができる	Dを用いた部品の図	指導下でCADを 化ができる	指導下でCADを用いた部品の図面 化ができる			CADを用いた部品の図面化ができ ない		
学科の到	達目標項	目と	の関係	<u> </u>								
教育方法	 等											
概要	せ球がたがはれてよりとして、										装置の製造	
授業の進め	方・方法	・授・以	受業は少。 以下に示	人数のグルーブ す授業計画は例	に分かれ,実習形式 であり,授業内容σ	で行う 順番等は年度当初	に連絡っ	する				
注意点	・実習では、作業服(上下)、帽子、安全靴、保護メガネを着用すること、これらが無い者の受講は認めない										,1	
授業の属	性・履修											
□ アクテ				□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	<u> </u>		□ 実務経験のある教員による授業			
			•			•			•			
授業計画	Ī											
		週	授	授業内容				週ごとの到達目標				
	3rdQ	1週	ガ	イダンス,安全	教育		機械加工基礎の学習内容と意義について説明できる . 安全に作業するために必要なことを説明できる				明できる できる	
		2週	エ	ンジン分解・組	立		エンジンの分解・組立作業ができる					
		3週	旋	盤		旋盤を用いて簡単な旋削加工			ができる			
		4週	ボール盤・ネジ切り				ボール盤を用いた穴あけとネ			ジ切りができ	る	
		5週	溶	接		溶接作業ができる						
		6週	CA	AD (1)			NC旋盤、マシニングセンタ きる形状を説明できる			, レーザー加工機で加工で		
		7週	CA	AD (2)			CADを用いて,NC旋盤で加工可能な部品の図面を作成できる				の図面を作成	
		8週	CA	AD (3)) (3)			CADを用いて、マシニングセンタで加工可能な部品の 図面を作成できる				
後期		9週	CA	AD (4)			CADを用いて、レーザー加工機で加工可能な部品の図面を作成できる					
		10週	電	気(1)			回路図を読むことができる					
	4thQ	11週	電	⑤ (2)			ブレッドボードを用いて,簡単な電気回路を製作する ことができる					
		12週	a	氢気(3)			ことかできる はんだ付け作業をすることができる					
		13週		B気(4)			ユニバーサル基盤を用いて,簡単な電気回路を製作す					
		14週		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			ることができる ものづくりに関して与えられた課題の内容を説明でき					
		15週		ポート課題(2		る ものづくりに関して与えられた課題をレポートにまと						
					めるこ		ことができる					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								四十二 6 1 1	拉来,由			
<u> </u>		<u> </u>		学習内容	学習内容の到達目標 実験・実習を安全性や禁止事項がど配慮して実践できる			到達レベル 2	授業週			
		術方	三学実験技術(各種測 対法、デ・ 対処理、 琴方法)	定 術(各種測定	実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。 個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に 取り組むことができる。			2				
専門的能力 分野別の専 門工学			シュム)	,	部品のスケッチ図を書くことができる。 CADシステムの役割と基本機能を理解し、利用できる。			2				
					CADン人テムの役	刮C基本機能を埋	件し、7	NJHI じさる	0	2		
評価割合												

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	60	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	40	0	40
分野横断的能力	0	0	0	60	0	0	60